

## 特別企画

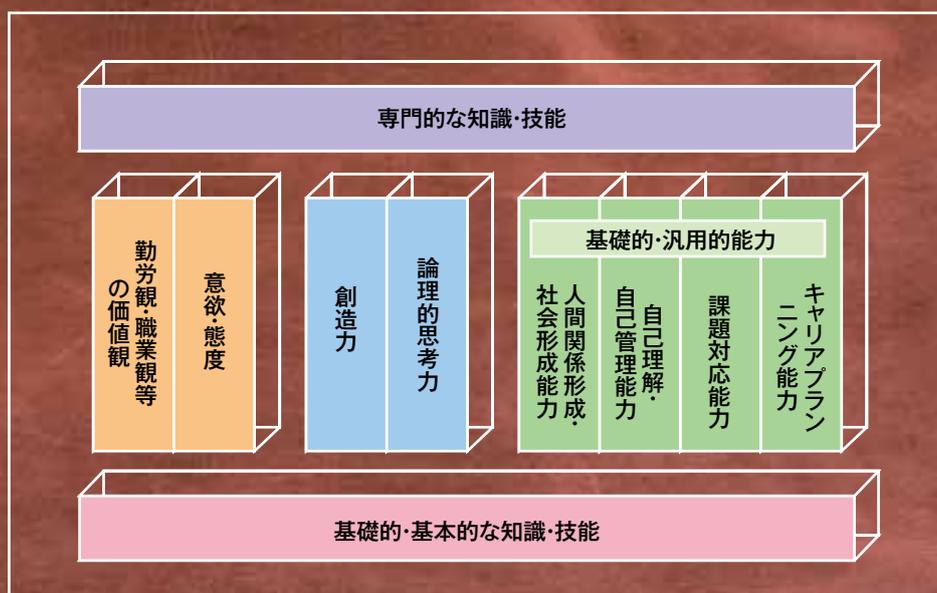
# 社会的・職業的自立のための 大学教育のあり方

高等教育機関はグローバル社会の熾烈な競争的環境の下で、教育の質保証と教育成果をますます強く問われている。とりわけ、教育の成果は、卒業後の進路で評価され、それが入学者確保や高等教育機関の存立に大きな影響を及ぼす。

2011年4月から「大学における社会的・職業的自立に関する指導等（キャリアガイダンス）」が義務化され、各高等教育機関におけるキャリア教育の実践が進んでいるが、すべての機関で定着し、その取り組み状況が高校生や高校教員、保護者、企業関係者などに広く周知されるには、まだ時間を要すると思われる。

教育および卒業生の質保証が重視される中、各大学にはディプロマ・ポリシーに基づき、キャリア教育を含めた学士課程教育全体を通して、社会で活躍し続けることができる人材を育成することが求められている。

### 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素



出典／中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)